

CASBEE新潟 | 評価結果



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	亀田東小学校 江南区 亀田町水道町3-2605他 住居専用10 学校, 2012年1月 予定 13,550.15 m ² 1,005.89 m ² 3,654.47 m ² 地上4F RC造 実施設計段階評価 2010年6月18日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{55}{35} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

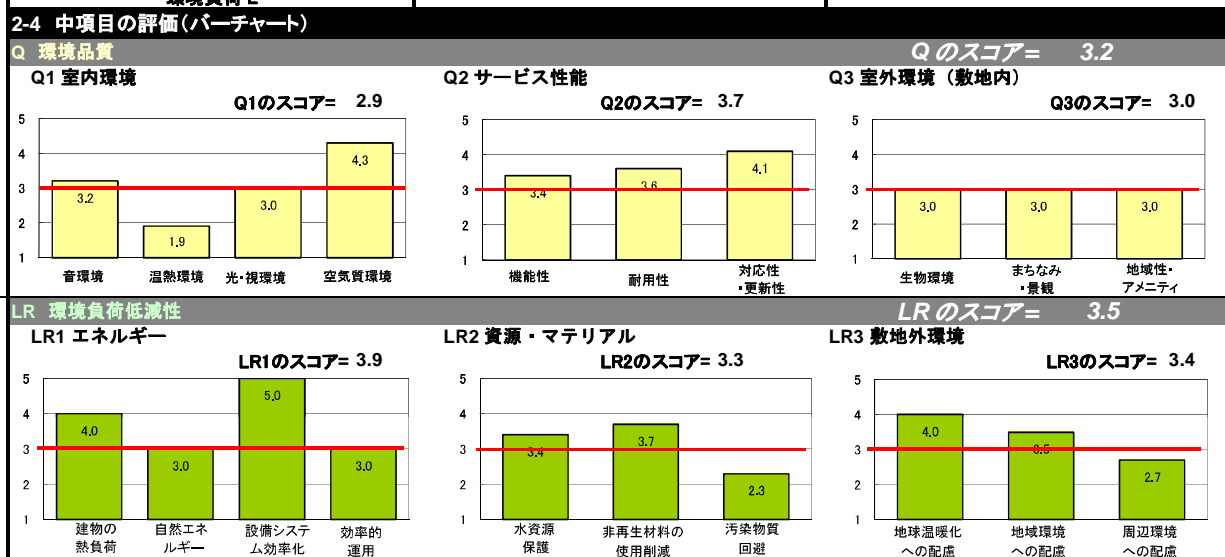
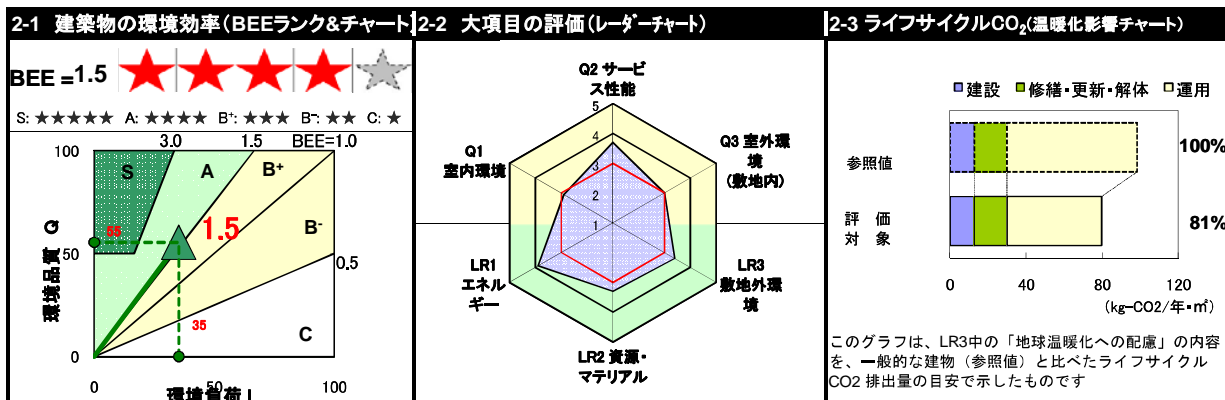
重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	4.0		バリアフリー	3.0
			維持管理	5.0
			更新性	4.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.6		耐震・免震	3.8
			信頼性	3.4
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮・快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

地域のシンボルとして末永く存続できるように建物の長寿命化への配慮を特に行なった。また地域住民が利用しやすいようバリアフリーとした。

CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新潟(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)



2-5 設計上の配慮事項

総合 学童が安全安心に学習できるよう計画した。また建物の長寿命化を図り、施設が学童のみならず近隣住民からも末永く愛着をもたれるようにバリアフリーに配慮すると共に完成時の姿を出来るだけ長期間保つための設備の更新性、メンテナンス、清掃についての対応を細かく行った。	その他 学童の学校生活での騒音が周辺住民の負担とならないよう校舎を配置を計画した。
Q1 室内環境 教室ごとの遮音性能を十分に確保した。また学童が使用する部屋では特に化学汚染物質の使用を避け、また室内の自然換気量を十分に確保した。	Q2 サービス性能 建物の長寿命化の実現のために設備機器の交換を行いやすく、また毎日の清掃や点検を容易に行えるよう計画した。
Q3 室外環境(敷地内) 十分な量の緑地を確保し、地域の保全に配慮した。	
LR1 エネルギー 太陽光発電の計画を行っている	LR2 資源・マテリアル 節水用フラッシュ弁を採用また、非再生性資源の使用量を削減した
	LR3 敷地外環境 敷地のゆとりを利用して駐輪場や駐車場を十分に確保した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される